

ごあいさつ



理事長 寺田斐夫

(財)リバーフロント整備センターの設立四周年を迎えて

平素より、当センターの運営につきましては、ご指導ご支援をいただき、心から御礼申し上げます。

さてこの度、理事会のご推挙により、西原前理事長の後任として当センターの理事長に就任することとなりました。微力ではありますが全力を尽して、当センター発展のため努力する覚悟でございますので、専務理事時代にも増してご指導ご支援賜りますよう心からお願い申し上げます。

当センターが昭和62年9月1日に発足してはや四年が経過しました。この間において、建設省をはじめとして、関係官庁、地方公共団体、関係法人からまた多方面の方々から、ご期待とご指導ご支援を戴き、おかげさまで、順調な歩みを続けることができました。

安全で豊かな潤いのある水辺空間の保全・整備一単に見てきれいなだけでなく、生態系との共存ができる川づくりに関する調査研究・技術開発、データベースの充実はもちろん、特に広報に力を入れてきました。川、湖、沼、海、水、水辺はいいもので、人間の生活に欠かせないものであり、それらを保全整備することが、人間が生きて行く上でいかに大切なものであるか等、水辺空間に人の目を向けるための努力をして参りました。また、水辺空間の保全整備の計画づくりには、単に河川管理者だけが参画するのではなく、市町村や地域住民に創意あふれる知恵と意見を求めるとともに、事業の実施についても主体的かつ積極的な参画を促すこと、水辺を含めた周辺一帯、ひいては流域全体でものを考える必要があること等を繰り返し広報してきました。その結果は、逆に怖いくらいな形で急速に現れてきました。耳新しかった「リバーフロント」という言葉も、最近では市民権を得てマスコミにも普通の言葉として登場するほどになりました。

今後は、これらの機運をのがさず、わが国の置かれている自然的社会的制約条件を踏まえて、安全で豊かな潤いのある水辺空間の保全・整備一単に見てきれいなだけでなく、生態系との共存ができる川づくりの実現化に向けての調査研究・技術開発を進展させるとともに、単に情緒的・ムード的な感覚でなく、工学的学術的に裏打ちされた説明方法についても研究していきたいと思っています。

今後とも安全で豊かな潤いのある水辺空間の保全整備のため、さらに組織体制を整備し、建設省の諸施策に呼応しつつ、多くの関係機関からの要請・期待に応えるために、さらに調査研究及び広報に努力して参りたいと存じますので、一層のご指導、ご支援のほどお願い申し上げます。